



2024—2025

KAWANOE WEEKLY



「風を受けて」 油彩 谷 晶子



2024-2025年度国際ロータリー会長
ステファニー A. アーチック

- 会 長 石 村 浩
- 幹 事 杉 浦 兼 吾
- 会報委員長 毛 利 泰 治 郎
- 例 会 日 毎週火曜日
12:10～13:10
- 例 会 場 四国中央商工会議所
電話 0896-58-3530
FAX 0896-58-6294
- 事 務 局 四国中央商工会議所
電話 0896-58-3530

「移住と古民家と DIY」

田中 優司

2013年当時、東大阪市にある文化住宅に暮らしていました。駐車場もない小狭い生活から脱出するべく、注目され始めていた古民家暮らしに目を向けました。

古民家といえば京都かな、同じことを考える人が多いのか家の横が崖だったり駐車場がなかったり条件の悪い物件ばかりで、探すエリアを広げると市内から遠ざかり交通の便も悪く、現実的ではありませんでした。それなら京都でなく滋賀ならどうだろうか、探してみると古民家が多くありました。特に湖西側の高島市以北に条件に合いそうな物件があり、その中に妻の希望するアトリエスペース、私が希望する車庫を十分に満たす、母屋と離れで10DKに納屋、車庫、蔵2棟にカーポートと十分な大きさと、交通の便はJR新快速も停まる駅までは徒歩圏内、京都まで40分・大阪まで60分、車もバイパスが通っており京都まで信号が無い便利の良さ、さらに上下水と光ファイバーが通っているのも条件に合致しました。初めて高島市を訪れ内覧したその日に購入を決めました。

近所の人の話によると、母屋は昭和15年に焼滅し翌年に再建した築80年ほどの瓦葺き農家住宅で、豪雪地帯ということで梁柱ともに立派な作りとなっています。私が思う古民家の良さは「曲がり梁」と言われるような自然の材と理にかなった作りです。棟木も根本が太く先細る自然の木を壁の外まで貫き、出た先は隠す近江地方の様式です。東石の上に柱が乗り、屋根には土の上に瓦を乗せてあります。これは台風に対しては重量で耐え、地震に対しては瓦を落として適度に揺れて耐える、そんな感じだそうです。建物が現存するという事はそれを証明しているように思います。立地や風水もよく考えられているように感じます。

そんな古民家は、基本的に夏を涼しく過ごせる作りになっています。だから、とにかく寒さには弱くリフォームされていることが多いです。快適性も大事ですが古民家の良さは当時の姿、石膏ボードに壁紙でツルツとした「大壁」でなく柱が見える「真壁」で趣重視にしようとDIYを始めました。世間一般の人には（平成の）リフォーム済みで住めるのに何でそんなことするの？と言われていましたが、壁床天井のほとんどを解体しました。梁が見えて漆喰の壁が現れたときはこれだ！と思いました。

やりだすときりがなく、ユニットバスも解体して外に移設、幾冬かの大雪には耐えたものの、台風には負けて吹き飛びました。残った湯船だけを納屋に移設し在来風呂が完成するまではブルーシートで囲まれた開放的なお風呂でした。トイレも同様、土間の宙に浮いた有り様です。

そんな生活は田舎への移住ということもあり、当初は夫婦二人でひっそり暮らす予定でしたがある日、道の駅でイベントのチラシを見つけました。「風と土の交響」というイベントで、それは工芸作家や農家、古民家再生などその人達の家や工房を公開していて暮らしを見学できるというものです。

そこで似たようなことをしている人達と出会いました。そこからはお互いに手伝いあったり情報交換だったり、地域の工務店や材木屋などとも繋がりました。気がつくと、自らもイベントに出展し、運営スタッフとして参加するようになりました。その他にも移住者による移住促進の活動にも参加し日々DIYしながら暮らす姿を提供していました。

DIYによるリフォームの良さはこだわり抜けるところですが、それが故に完成しない、これも身内では共通の認識でした。しかし、こんな生活も子どもの誕生や家業を継承する都合で難しくなっていき、残念ながらリフォームを完成させることなく、一旦家業に専念するべく香川に居を移しました。

それでも懲りずに今度は「古工場」を手に入れてしまいました。今回の物件は家ではないのでリノベーションではなく、コンバージョンと言うそうです。そしてまた片付けるところから再スタートです。次こそは完成を目指したいところです。

第3048回 例会記録 R. 6. 9. 3

出席報告

1. 出席会員 (47名中) 38名
2. 当日出席率 80.85%
3. 来賓
・愛媛県立川之江高等学校2年 信藤まひろ様
・愛媛県立川之江高等学校校長 松木 義明様
・愛媛県立川之江高等学校教員 松木 珠乃様
4. 前々回補足修正率 95.74%

リーガ新居浜にてメーキャップの受付をしております。(事前連絡必要)

2. 東予RC
創立50周年記念行事のご案内
【開催日:11月30日(土)】
3. ザ・ロータリアン2024年9月号
4. バギオだより2024年9月号
5. 米山梅吉記念館 館報2024年秋号
6. 四国中央市就職準備フェア実行委員会
「四国中央市就職準備フェア2024」のご案内
7. 2024年9月 近隣クラブ例会のお知らせ
(出席委員会)

出席表彰 (9月)

- ・石川 晋 会員 (25年)

ニコニコニュース

石村浩…信藤まひろさん、訪米お疲れ様でした。この後の報告楽しみにしています。松木校長、松木教員、本日はご臨席ありがとうございます。

会長の時間

- ・交換学生を通じて人との繋がり

杉 浦…本日は川之江高等学校より松木義明校長・松木珠乃先生と短期交換学生の信藤まひろ様、川之江RCにお越し頂きありがとうございます。また、まひろ様には卓話にて活動報告をして頂けるとの事。宜しくお願い致します。

委員長の時間

- ・家族旅行について
親睦活動委員長 石村 榮一 会員
- ・「友」9月号要点紹介
雑誌委員長 寺尾 浩一 会員
- ・出席報告 出席委員長 脇 研二 会員

高 橋…四国大会に進出した松柏小学校金管バンド部ですが、銀賞受賞、全国大会は出場ならず。札幌開催だっただけになんか残念です。

会務報告

1. 例会変更のお知らせ

【観音寺RC】

9月12日(木) 夜間例会

観音寺商工会議所にて10時~14時頃迄メーキャップの受付をしております。

【新居浜RC】

9月26日(木) 移動例会

森 実…国際奉仕委員会の森実です。本日の卓話は、今年度交換学生の川之江高校信藤まひろさんに、アメリカでの体験をお話して頂きます。宜しくお願い致します。また、同行頂いております、松木義明校長先生、まひろさんの英語の担任をされております松木珠乃先生、本日はありがとうございます。

「移住と古民家と DIY」

田中 優 司

2013年当時、東大阪市にある文化住宅に暮らしていました。駐車場もない小狭い生活から脱出するべく、注目され始めていた古民家暮らしに目を向けました。

古民家といえば京都かな、同じことを考える人が多いのか家の横が崖だったり駐車場がなかったり条件の悪い物件ばかりで、探すエリアを広げると市内から遠ざかり交通の便も悪く、現実的ではありませんでした。それなら京都でなく滋賀ならどうだろうか、探してみると古民家が多くありました。特に湖西側の高島市以北に条件に合いそうな物件があり、その中に妻の希望するアトリエスペース、私が希望する車庫を十分に満たす、母屋と離れて10DKに納屋、車庫、蔵2棟にカーポートと十分な大きさと、交通の便はJR新快速も停まる駅までは徒歩圏内、京都まで40分・大阪まで60分、車もバイパスが通っており京都まで信号が無い便利の良さ、さらに上下水と光ファイバーが通っているのも条件に合致しました。初めて高島市を訪れ内覧したその日に購入を決めました。

近所の人の話によると、母屋は昭和15年に焼滅し翌年に再建した築80年ほどの瓦葺き農家住宅で、豪雪地帯ということで梁柱ともに立派な作りとなっています。私が思う古民家の良さは「曲がり梁」と言われるような自然の材と理にかなった作りです。棟木も根本が太く先細る自然の木を壁の外まで貫き、出た先は隠す近江地方の様式です。束石の上に柱が乗り、屋根には土の上に瓦を乗せてあります。これは台風に対しては重量で耐え、地震に対しては瓦を落として適度に揺れて耐える、そんな感じだそうです。建物が現存するという事はそれを証明しているように思います。立地や風水もよく考えられているように感じます。

そんな古民家は、基本的に夏を涼しく過ごせる作りになっています。だから、とにかく寒さには弱くリフォームされていることが多いです。快適性も大事ですが古民家の良さは当時の姿、石膏ボードに壁紙でツルツとした「大壁」でなく柱が見える「真壁」で趣重視にしようとDIYを始めました。世間一般の人には（平成の）リフォーム済みで住めるのに何でそんなことするの？と言われていましたが、壁床天井のほとんどを解体しました。梁が見えて漆喰の壁が現れたときはこれだ！と思いました。

やりだすとときりがなく、ユニットバスも解体して外に移設、幾冬かの大雪には耐えたものの、台風には負けて吹き飛びました。残った湯船だけを納屋に移設し在来風呂が完成するまではブルーシートで囲まれた開放的なお風呂でした。トイレも同様、土間の宙に浮いた有り様です。

そんな生活は田舎への移住ということもあり、当初は夫婦二人でひっそり暮らす予定でしたがある日、道の駅でイベントのチラシを見つけました。「風と土の交響」というイベントで、それは工芸作家や農家、古民家再生などその人達の家や工房を公開して暮らしを見学できるというものです。

尾 藤…現在、歴史的建造物の維持保全のためのヘリテージ・マネージャーの養成講座を受けており、広島大学名誉教授三浦正幸氏の講義がありました。三浦氏は大河ドラマの歴史建築考証をされている方です。1日で6時間の講義で頭が疲れました。

卓 話（国際奉仕委員会 担当
森実 秀郎 会員紹介）
「短期交換派遣学生 活動報告」
信藤 まひろ 様

※第3047回（R6.8.30）台風の為休会

近隣RCの例会日

9月12日（木）新居浜RC
（リーガ新居浜）

9月12日（木）観音寺RC（夜間例会）
観音寺商工会議所にて10時～14時頃迄
メーキャップの受付をしております。

9月13日（金）伊予三島RC
（三島商工会館）

9月17日（火）観音寺東RC
（亀の井ホテル観音寺）

9月17日（火）新居浜南RC（夕刻例会）
リーガ新居浜にてメーキャップの受付
をしております。（事前連絡必要）

例会プログラム

9月17日（火）

ガバナー公式訪問合同例会・懇親会
（会長 担当）

18:00～ホテルグランフォーレにて